

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)

【公開番号】特開 2006-27172 (P2006-27172A)
 【公開日】平成 18 年 2 月 2 日 (2006.2.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-005
 【出願番号】特願 2004-211649 (P2004-211649)
 【国際特許分類】

B 4 1 L 13/16 (2006.01)

B 4 1 L 13/04 (2006.01)

B 4 1 F 33/14 (2006.01)

【F I】

B 4 1 L 13/16 B

B 4 1 L 13/04 F

B 4 1 L 13/04 K

B 4 1 L 13/04 M

B 4 1 L 13/04 N

B 4 1 L 13/04 Q

B 4 1 F 33/14 Z

B 4 1 F 33/14 K

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 20 日 (2007.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の版胴を有し、

用紙の搬送方向において、各版胴の印刷範囲よりも、サイズの大きな用紙に対して印刷を行うときに、用紙に対する前記各版胴による印刷位置が、用紙の搬送方向において用紙上の異なる範囲を占めるずらし印刷を行うことが可能である印刷装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の印刷装置において、

用紙に対する前記各版胴による印刷位置が用紙の搬送方向において用紙上の異なる範囲を占めるずらし印刷モードであるときに、前記ずらし印刷を行い、

用紙に対する前記各版胴による印刷位置が用紙の搬送方向において用紙上の同一範囲を占める重ね印刷モードにて印刷を行うことが可能であることを特徴とする印刷装置。

【請求項 3】

請求項 2 記載の印刷装置において、

前記ずらし印刷モードであるか前記重ね印刷モードであるかに応じて、用紙に対する前記各版胴による印刷位置を用紙の搬送方向において調整する印刷位置調整手段を有すること
を特徴とする印刷装置。

【請求項 4】

請求項 3 記載の印刷装置において、

前記印刷位置調整手段が、前記各版胴を互いに独立して回転駆動する版胴駆動手段と、前記版胴駆動手段による前記各版胴の回転駆動を制御する制御手段とを有し、

前記各版胴のそれぞれに対して配設され、用紙を前記各版胴に対して押圧する複数の印圧部材と、前記制御手段によって独立に制御され前記各印圧部材を前記各版胴に対して接離させる印圧駆動手段とを有することを特徴とする印刷装置。

【請求項 5】

請求項 1 ないし 4 の何れか 1 つに記載の印刷装置において、

前記各版胴にマスタを巻き付けて印刷を行い、

前記各版胴に巻き付けられるマスタを製版する製版手段を有し、用紙の搬送方向において前記各版胴の印刷可能範囲よりもサイズの大きな印刷を行うとき、前記ずらし印刷を行うために、前記製版手段が、前記各版胴による印刷位置に応じて、当該版胴により印刷すべき画像に対応した製版を行うことを特徴とする印刷装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

請求項 2 記載の発明は、請求項 1 記載の印刷装置において、用紙に対する前記各版胴による印刷位置が用紙の搬送方向において用紙上の異なる範囲を占めるずらし印刷モードであるときに、前記ずらし印刷を行い、用紙に対する前記各版胴による印刷位置が用紙の搬送方向において用紙上の同一範囲を占める重ね印刷モードにて印刷を行うことが可能であることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

請求項 3 記載の発明は、請求項 2 記載の印刷装置において、前記ずらし印刷モードであるか前記重ね印刷モードであるかに応じて、用紙に対する前記各版胴による印刷位置を用紙の搬送方向において調整する印刷位置調整手段を有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

請求項 4 記載の発明は、請求項 3 記載の印刷装置において、前記印刷位置調整手段が、前記各版胴を互いに独立して回転駆動する版胴駆動手段と、前記版胴駆動手段による前記各版胴の回転駆動を制御する制御手段とを有し、前記各版胴のそれぞれに対して配設され、用紙を前記各版胴に対して押圧する複数の印圧部材と、前記制御手段によって独立に制御され前記各印圧部材を前記各版胴に対して接離させる印圧駆動手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

請求項 5 記載の発明は、請求項 1 ないし 4 の何れか 1 つに記載の印刷装置において、前記各版胴にマスタを巻き付けて印刷を行い、前記各版胴に巻き付けられるマスタを製版す

る製版手段を有し、用紙の搬送方向において前記各版胴の印刷可能範囲よりもサイズの大
きな印刷を行うとき、前記ずらし印刷を行うために、前記製版手段が、前記各版胴による
印刷位置に応じて、当該版胴により印刷すべき画像に対応した製版を行うことを特徴とす
る。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0024
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正16】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0025
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正17】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0026
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正18】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0027
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正19】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0028
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正20】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0029
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正21】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0049
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0049】

請求項1ないし5の何れか1つに記載の印刷装置を用いて印刷を行う印刷方法によれば、上述の各効果を奏する印刷装置を用いて印刷を行い、小型の版胴を用いながらも大サイズの印刷を可能とし、用紙を版胴から剥離する際に用紙のコシの強さを利用した剥離が容易となり、いわゆる巻き上がりやジャム等の不具合が生じ難く、また各版胴を回転駆動するための動力が低減されるとともに、印刷装置が孔版印刷装置である場合には特に、マスクの無駄が抑制されるためランニングコストが抑制され、さらに、版胴間距離が小さく小サイズ用の紙への印刷を印刷位置のずれを防止して良好に行うことができる印刷方法を提供することができる。